

笑顔あふれた日々に ありがとう

市立桜井南幼稚園 閉園式

3月20日(金)祝、長きにわたってこどもたちの成長を見守ってきた市立桜井南幼稚園が、閉園の日を迎えました。たくさんの笑顔とともに紡がれてきた歴史と思い出を胸に、これまでの感謝と新たな門出を祝う気持ちが込められた閉園式が行われました。



▲最後の卒園児が幼稚園のシンボル・くぬぎの木のどんぐりで作った記念品。来園した皆さんに配られました。



井上陽子 園長

温かい光が差し込む園舎と自然豊かな園庭で、昭和47年の創立から54年間、2,533名のこどもたちが健やかに育ちました。歴代の教職員・保護者・地域の皆さん、長年のご支援・ご協力、ありがとうございました。



父親の通った幼稚園に、1年間一緒に通いました。毎日、お母さんと楽しく通園しました。一緒に雲梯で遊んだのが、楽しかったです。



幼稚園の頃からの友達で、同じ中学校に通っています。一番遊んだのは、園庭の築山。たくさんの思い出が詰まっている場所です。

思い出と感謝 分かち合うひととき

ありがとうのつどい

閉園式の後には、PTAの皆さんなどの協力で「ありがとうのつどい」を開催。卒園生や地域の皆さんが園庭に集い、名残を惜しみながら、思い出の場所で自由に過ごしました。



集めました 思い出の声



3月に、お姉ちゃんが卒園しました。優しい先生ばかりで、楽しい幼稚園生活でした。毎年盛り上がった運動会が、思い出になっています。



親子で卒園。私は、広い園庭で色水遊びをしたことが思い出です。娘は観察池のカエルが大好きで、幼稚園に広がる自然を楽しんでいました。